

独立行政法人農業生物資源研究所無駄削減プロジェクトチーム
平成21年度取組目標

1. 平成21年度における支出の無駄削減

平成21年度における支出の無駄削減のため、以下の取組を実施する。

(1) 随意契約の見直し

競争性、透明性の確保のため、真にやむを得ないものを除き、一般競争入札等（競争入札及び企画競争・公募）の競争性の高い契約方式とする。

(2) 調達手続きの適正化

① 発注予定情報のHPへの掲載及び調達情報の公表方法の改善等を行い、一般競争入札参加者の拡大を図る。

② 単価契約の範囲を拡大するとともに、一括契約、消耗品類の共同購入を推進する。

(3) 事業用車の経費の削減

事業用車の適正配置及び削減を進め、維持管理費、燃料費の削減を図る。

(4) 公益法人への支出の削減

公益法人への支出や一者応札の動向についてチェックを行う。

2. 平成22年度に向けての支出の無駄削減

(1) 平成21年度の支出状況の点検

支出の無駄削減に向け、平成21年度の支出状況を半期毎に取りまとめ、点検する。

(2) 平成22年度の支出への反映

2. (1) の支出状況等の点検結果を踏まえ、平成22年度の執行に反映させる。

(3) 外部機関からの指摘に対する対応

会計検査院からの指摘、農林水産省独立行政法人評価委員会及び政策評価・独立行政法人評価委員会からの指摘事項等については、平成22年度の執行に反映させる。

3. 一人一人の職員の意識改革

以下の取組を行い、無駄な支出の削減に対する一人一人の職員の意識を高める。

(1) 省エネの励行

所員一人一人が常に省エネに対する意識を持ち、夏季及び冬季節電対策等において掲げる各事項について、積極的に取り組み経費の節減に努める。

(2) 省資源対策

① 複写機及びプリンタの使用に当たり両面コピー、使用済みコピー用紙の再利用を図る。

② 電子メール及びグループウェア等の活用によるペーパーレス化を図る。

(3) 管理運営コストのグループウェア掲載

光熱水料・通信運搬費等の管理運営コストを所内グループウェアに掲載し、所員のコスト意識の醸成を図る。

以上